

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2017年度 (前期) 指定公募  
「在宅医療推進のための学会等への共催」完了報告書

「第7回日本小児在宅医療支援研究会」

学会名：日本小児在宅医療支援研究会

申請者：田村正徳

提出 2017年 11月 30日

## <報告書>

2017年10月28日にさいたま市大宮ソニックシティにて第7回日本在宅医療支援研究会を開催した。参加者は381名で、『医療的ケア児の保育・療育・教育』をテーマに日本全国から発表があった。一般演題には、41演題の応募があり、そのために例年より会場数を増やし、4会場にて発表を行い、さらに優秀演題をシンポジウムへと振り分けた。午前中はA・B・C・Dの4会場に別れ、A会場では小児在宅医療に関する研修会とネットワークづくり、学校教育・保育の現状、薬局・薬剤師の役割について、B会場ではNICUや基幹病院からの在宅移行、C会場では訪問看護、リハビリテーション等の地域連携とよりよい在宅医療支援、在宅医療児の栄養評価について、D会場では、在宅での生活の質の向上のためのお出かけ、プール、旅行などのさまざまな支援と在宅緩和医療についてが、討議された。これらの発表に対して各会場で活発に議論がなされた。小児の在宅医療における多職種連携やネットワークが確実に広がっていることが分かった。

昼は 日本看護協会の福井トシ子様による特別講演Ⅰ「日本看護協会の小児在宅移行支援指導者育成研修のとりくみ」を行い、日本看護協会が小児在宅医療移行支援に関する訪問看護ステーションの看護職の研修に加えてこれらを行うことのできる病院看護職を積極的に育成していることをご講演していただいた。

続いて医療法人はるたか会の前田浩利先生による特別講演Ⅱ「小児在宅医療の展望-法的背景を得た小児在宅医療の今・未来-」を行い、2016年5月の通常国会で新しい障害概念として、人工呼吸器などの医療を日常的に必要なとする状態が、新たな障害として定義され、これら医療的ケア児の支援が必要であるといった法案の成立を踏まえ、今後小児在宅医療に必要とおもわれる技術や知識についてご講演頂いた。

その後、「医療的ケア児の保育・療育・教育」というテーマでシンポジウムを開催した。初めに、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育室の森下平企画官より基調講演があり、それに引き続き、今回の研究会のテーマに沿ったシンポジウムが行われ、はじめに三重県における医療的ケア児の地域・ライフステージ別全数把握調査についての発表がなされた。その後、医療的ケア児の保育、学校教育の現状と課題についての発表に続いて医療的ケア児の学校教育卒後の課題についても発表がなされ、熱い議論が行われた。

これまで本研究会の参加者は医療職に偏りがちであったが、今回の研究会では、「医療的ケア児の保育・療育・教育」というテーマであったことから、幅広い職種の参加がえられた。アンケート回答者144名中73名が初参加であった。特にこれまで参加者のいなかった教育関係者、学校看護師やいくつかの県や市の特別支援教育や教育委員会の関係者等の参加が得られたことは、大変有り難かった。全体的な成果としては、小児在宅医療を必要とする児・者の成長、発達、ライフステージに応じた支援の必要性を多職種によって討議でき、課題を共有できたことである。

来年は、本研究会が初めて埼玉県以外の神戸で大阪発達総合療育センターの船戸正久先生が会頭で開催される。今後もさらにこの研究会を継続し、発展させて行くことに熱意を燃

やして行きたい。

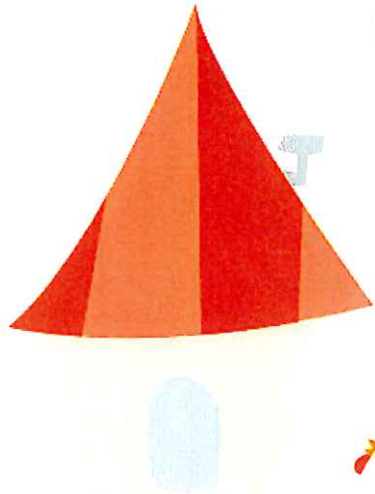
最後に、このような有意義な研究会を助成くださいました公益財団法人 在宅医療助成  
勇美記念財団に厚く御礼申し上げます。

第7回

# 日本小児在宅

# 医療支援研究会

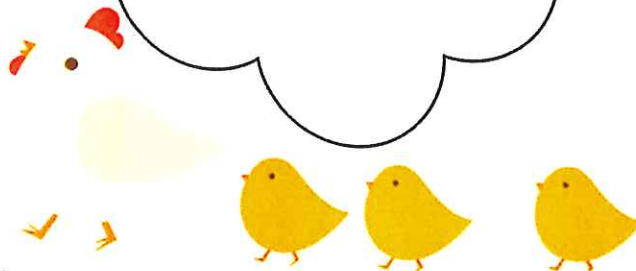
テーマ 医療的ケア児の保育・療育・教育



2017年

10/28 (土)

9:50~17:00



ソニックシティビル 市民ホール (4階) 他

埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 (JR大宮駅西口徒歩5分)

参加費：一般 5,000円 会員 3,000円 ※事前申し込み不要

## プログラム

- 9:50 **開会挨拶** 田村正徳 (研究会代表理事)
- 10:00~12:00 **一般演題** 3~4 会場にて開催
- 12:15~13:45 **特別講演 1** 福井トシ子先生 (日本看護協会会長)  
「日本看護協会の小児在宅移行支援指導者育成研修の取り組み」
- 特別講演 2** 前田浩利先生 (あおぞら診療所)  
「小児在宅医療の今後の展望(仮題)」
- 14:00~16:30 **シンポジウム** 「医療的ケア児の保育・療育・教育」
- 16:35 **閉会挨拶** 船戸 正久 (次回当番世話人)

※特別講演、シンポジウムは4階市民ホールで開催されますが、一般演題は複数の会場にて開催されます

事務局 埼玉医科大学総合医療センター小児科  
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981  
tel:049-228-3550 fax:049-226-1424

【主催】一般財団法人 日本小児在宅医療支援研究会  
【共催】公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団



第7回

日本小児在宅医療支援研究会

## プログラム・抄録集

### 医療的ケア児の

### 保育・療育・教育

**日時** 2017年10月28日(土) 9:50~17:00

**場所** ソニックシティビル 市民ホール(4階) 他

**会長** 田村 正徳 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)

主催：一般財団法人 日本小児在宅医療支援研究会

共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

**【事務局】**

---

埼玉医科大学総合医療センター小児科  
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981  
Tel : 049-228-3550 Fax : 049-226-1424  
E-mail : zaitaku@saitama-med.ac.jp  
<http://shounizaitakusien.kenkyuukai.jp/>  
<http://www.happy-at-home.org/>

**【開会責任者】**

---

埼玉医科大学総合医療センター小児科  
日本小児在宅医療支援研究会代表世話人  
田村 正徳

**【共催】**

---

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団